

看護業務支援ロボット

ロボット名

Temi (左)、Ohmni robot (右)
(ロボットシステム
: デジタルツインロボット制御システム
「TransBots」)

実証時期

2022/1/25 (火)

実証フロア

本棟4階

課題

病棟において、病室や検査室への入院患者の案内・説明に看護師の対応が必要となっている。
また、将来的に異種複数のロボットが院内で稼働する際、ロボットの管理や利用時に手間の発生が想定される。

実証内容

- ロボットの誘導による入院患者への案内、テレプレゼンス機能を用いた看護師からの説明を行う。(入院患者役はダミーとする)
- 複数のロボットを一元管理するシステムによってロボットの制御を行い、使い勝手について、医療従事者からフィードバックをいただく。



異種複数ロボットを一元管理・制御可能なシステム「TransBots™」の管理画面の一例
(凸版印刷株式会社HPより引用)

期待される効果

- 入院患者への案内時間、現地での説明の時間削減による看護師の業務効率向上。
- ロボットの一元管理による、ロボット管理の効率化。



© Toppan Inc.

(凸版印刷株式会社HPより引用)

2022 年 1 月
凸版印刷株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所

ロボットの实証実験において撮影を行います

1. 実証実験の概要

- (1) 実証名 令和3年度新型コロナウイルス感染症対策ロボット実装事業
看護支援ロボット実証実験
- (2) 目的 看護業務支援にあつてのロボットシステムの有効性の検証
- (3) 日時 2022 年 1 月 25 日（火）13 時～16 時（10 時から準備を行います）
- (4) 場所 下記エリアをロボットが走行します。



(5) 走行するロボット

- ・ 走行速度は人が歩く速度以下です。
- ・ 人や障害物を自動で回避します。
- ・ 常にスタッフがそばに付き添い走行させます。



エリア①を走行するロボット



エリア②を走行するロボット

(6) 実証内容

- ・ ロボットが、ナースステーション前から病室の前まで被誘導者を誘導します。
- ・ ロボットが、病室前から検査室前までモニター被誘導者を誘導します。
- ・ ロボットが、病棟の外側出入口付近と荷物用ダムウエーター前を往復します。

2. 実証中のロボットの撮影について

実証中、以下の内容でスタッフが撮影をすることがありますのでご了承ください。

(1) 撮影の目的

- ・ ロボットの研究開発（社内での分析等）に利用するための映像の取得
- ・ ロボットの販売促進（展示会や商談の場での放映等）に利用するための映像の取得。

(2) 撮影方法について

- ・ スタッフがハンディカム等の手持ちカメラでロボットや周辺環境を撮影します。
- ・ 人が映りこまないように配慮して撮影します。

(3) 撮影した映像データについて

- ・ 個人が特定できる映像が意図せず撮影された場合は、当該映像データは原則直ちに削除します。
- ・ 上記の映像データを利用する場合は、映像の当該部分を削除するか、顔にぼかしを入れる等、個人を特定できないように映像を加工し利用します。上記加工完了後、加工前の映像データは削除します。

3. 問い合わせ先

●撮影に関する問合せ：

凸版印刷株式会社（個人情報取扱事業者）
事業開発本部 ビジネスイノベーションセンター ビジネス・クリエーション部
担当：山瀬
Eメール：tomohiro.yamase@toppan.co.jp

●事業に関する問い合わせ：

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所
情報未来イノベーション本部 先端技術戦略ユニット ロボット・AI グループ
Eメール：kanagawa_robot_pj_2021@nttdata-strategy.com

実証内容の詳細情報はこちら

https://www.nttdata-strategy.com/kanagawa_robot_pj_2021_3/